

# 産婦人科

産婦人科診療科長 大石 元

## 診療科紹介

当科で取り扱う周産期、腫瘍、生殖・内分泌、女性医学（女性ヘルスケア）の全ての分野において、質の高い医療を提供すべく各領域の専門医を揃えており、各学会の修練施設に認定されている。

産科では、他科との連携を生かし各種合併症妊娠の管理や母体救命が必要な疾患にも対応する一方で、合併症のないローリスクな妊産婦に対してはできるだけ自然な分娩を心がけている。また 2022 年 6 月より経産婦限定で無痛分娩を導入し、2024 年 6 月からは初産婦への導入を開始した。2024 年度は総計 70 例（うち初産 24 例）の無痛分娩を施行した（開始以来 2024 年度末までで総計 132 例）。分娩件数は多くの施設で減少傾向ですが、当院は微増しております。地域周産期母子医療センターとして、小児科に 6 床の NICU を有し、妊娠 24 週以降の母体搬送が受入可能です。昨年は 294 件の分娩を管理し、24 件の母体搬送を受け入れました。

婦人科では、年間約40例の悪性腫瘍手術（再発、上皮内がんを除く）を行っており、癌専門病院では手術が受けられない合併症のある方も受け入れています。昨年は一般病院としてはかなり件数が多い、婦人科浸潤がん症例66例の初回治療を施行しました。早期子宮体癌あるいは良性疾患に対しては、内視鏡手術あるいはロボット支援下手術（ダビンチ Xi 使用）を積極的に行い、早期離床・退院を推進しております（産婦人科内視鏡学会腹腔鏡技術認定医が担当いたします）。2023年より高難度手術に分類されている傍大動脈リンパ節郭清を伴う子宮内膜がん症例に対しても腹腔鏡手術を導入開始し4例を施行いたしました。また子宮筋腫および子宮内膜症などの手術が必要な不妊患者さんに対しては、腹腔鏡手術と体外受精をはじめとする高度生殖医療を組み合わせたハイブリッド治療に対応し、妊娠成立後は分娩までシームレスに対応します。2022年4月より生殖補助医療（体外受精）が保険診療となり、今まで敷居の高かった体外受精を受けられる方が増えましたが、ハイリスクとなることが多いため、当科では慎重に対応しております。

## スタッフ

氏名	職名	専門分野・専門医資格等
大石 元	産婦人科診療科長 第1婦人科医長	専門分野: 生殖内分泌, 女性医学, 腹腔鏡手術 専門医資格: 産婦人科指導医, 生殖医療指導医, 女性ヘルスケア指導医, 産婦人科内視鏡技術認定医 (腹腔鏡) 産婦人科内視鏡技術認定医 (ロボット) 婦人科ロボット手術プロクター (良性)
定月 みゆき (3月退職)	産科医長	専門分野: 生殖内分泌, 女性医学, 周産期医学 専門医資格: 産婦人科指導医, 生殖医療指導医, がん治療認定医, 周産期専門医 女性ヘルスケア指導医

富尾 賢介	第2婦人科医長	専門分野: 婦人科腫瘍 専門医資格: 産婦人科指導医 婦人科腫瘍指導医, がん治療認定医 産婦人科内視鏡技術認定医 (腹腔鏡) 産婦人科内視鏡技術認定医 (ロボット)
中西 美紗緒	産婦人科医師	専門分野: 周産期医学, 婦人科腫瘍, 腹腔鏡手術 専門医資格: 産婦人科指導医, 周産期専門医 超音波専門医, がん治療認定医 産婦人科内視鏡技術認定医 (腹腔鏡) 産婦人科内視鏡技術認定医 (ロボット) 臨床遺伝専門医
荒川 知子 (4月採用)	産婦人科医師	専門分野: 生殖内分泌, 女性医学, 腹腔鏡手術 専門医資格: 産婦人科指導医, 女性ヘルスケア専門医
井上 双葉	産婦人科医師	専門分野: 婦人科腫瘍, 腹腔鏡手術 専門医資格: 産婦人科指導医, 臨床遺伝専門医 産婦人科内視鏡技術認定医 (腹腔鏡)
山口 翔吾 (4月採用)	産婦人科医師	専門分野: 婦人科腫瘍, 腹腔鏡手術 専門医資格: 産婦人科専門医, 婦人科腫瘍指導医
緒方 佑莉	産婦人科医師	専門分野: 生殖内分泌 妊孕性温存 (がん生殖) 専門医資格: 産婦人科専門医
井上 由夏	産婦人科医師	専門分野: 生殖内分泌 腹腔鏡手術 専門医資格: 産婦人科専門医
黒瀬 大地 (10月採用)	産婦人科フェロー	専門分野: 生殖内分泌 腹腔鏡手術 専門医資格: 産婦人科専門医
松本 侑子	産婦人科レジデント	
伊藤 萌絵 (4月採用)	産婦人科レジデント	
小關 友理子 (10月採用)	産婦人科レジデント	
木村 圭穂	産婦人科レジデント	
敦澤 美月	産婦人科レジデント	
辰田 功顕	産婦人科レジデント	
楠本 実沙	産婦人科レジデント	
深柄 春奈	産婦人科レジデント	
藤井 莉栄	産婦人科レジデント	
高本 真弥 (併任)	医療安全管理部門長 医療安全管理室長 産婦人科医師 (併任)	専門分野: 女性医学, 医療安全 専門医資格: 産婦人科指導医, 女性ヘルスケア指導医 臨床遺伝専門医
箕浦 茂樹	産婦人科非常勤医師	専門分野: 周産期医学

## 診療実績

### ・概要

NCGM 産婦人科は産婦人科医療の3本柱である産科（周産期部門）、婦人科腫瘍、生殖内分泌の3つの領域全てをカバーしており、それぞれの分野を有機的に結びつけながら診療をおこなっている。他科疾患の合併症例も多く、救急搬送で受け入れるハイリスク症例の割合も高い。ロボット支援下手術は2018年に導入し、着々と症例数を増加させており、2024年度末で累計300例を超えた。良性だけでなく2024年度に悪性子宮腫瘍手術（子宮内膜がん）に対してのロボット手術の導入し5例施行した。腹腔鏡下傍大動脈リンパ節郭清術も継続して施行している。また更なる婦人科手術の低侵襲化を目的として、vNOTES手術への取り組みも拡大している。初産婦に対する無痛分娩は2024年6月より開始し、計画分娩ではあるが順調に件数を伸ばしている。体外受精は2022年度に保険適用となったが、採卵件数は80件台で推移しており、新鮮胚移植は少なく、ほとんど全胚凍結ののちの凍結融解胚移植を施行している。

・産科(周産期)統計 (2024.4.1~2025.3.31)

1.母体の統計

分娩母体数 294 初産婦経膣分娩 88 経産婦経膣分娩 102  
無痛経膣分娩 65

母体年齢

10 歳代 0 20 歳代 45 30 歳代 208 40 歳代 41

経産回数

初産 143 1 回経産 106 2 回経産 40 3 回経産以上 5

早産 27

死産 0

多胎妊娠

多胎 9 品胎以上 0

分娩様式

単胎経膣分娩 190 双胎経膣分娩 0 骨盤位経膣分娩 0 VBAC 0  
吸引分娩 11 鉗子分娩 13 帝王切開 104

分娩時出血量 1000ml 以上

	1000~1499ml	1500~1999ml	2000ml 以上
経膣分娩	14	6	2
帝王切開分娩	39	14	6

主な産科異常

妊娠高血圧症候群 16 常位胎盤早期剥離 2  
前置胎盤 2

主な合併症

心疾患 3 糖尿病 3 GDM: 29  
甲状腺疾患 25 膠原病 6  
呼吸器疾患 16 血液疾患 0  
腎疾患 4 精神疾患 26

## 2.新生児の統計

新生児数 生 303 死 0

Apgar Score	0～3 点	4～9 点
1 分值	10	292
5 分值	1	270

低出生体重児数 48

1000 g 未満 3      100～1499 g 6      1500～2499 g 42

早期新生児死亡（日齢 7 日未満） 0

早産数(妊娠 28 週未満) 2

帝王切開術症例数 104

出産数 303

母体搬送受入数 24

母体偶発合併症数 135

産科合併症数 217

胎児異常症例 32

極低出生体重児 6

## ・婦人科(手術)統計

### 1. 婦人科手術統計 (流産・人工中絶を除く)

#### 子宮筋腫, 子宮腺筋症

腹式単純子宮全摘出術 (TAH)	8
子宮筋腫核出術	3
腹腔鏡補助下子宮筋腫核出 (LAM)	9
腹腔鏡補助下子宮筋腫核出 (LAM) + 腹腔鏡下卵巣嚢胞摘出術 (LC)	2
腹腔鏡下子宮筋腫核出術 (LM)	16
腹腔鏡下子宮筋腫核出 (LM) + 腹腔鏡下卵巣嚢胞摘出術 (LC)	2
LM + 子宮鏡下子宮筋腫核出術 (TCRm)	2
腹腔鏡下子宮全摘出術 (TLH)	8
TLH + 腹腔鏡下卵巣嚢胞摘出術/付属器摘出術 (LC/L-SO)	4
ロボット支援下子宮全摘出術 (RASH)	53
経腔的腹腔鏡下子宮全摘術 (vNOTES VANH)	11
TCR-m	13
TCR-m + 審査腹腔鏡	1
TCRm/p + マイクロ波子宮内膜焼灼術 (MEA)	2

#### 付属器腫瘍 (良性)

開腹によるもの (TAH および筋腫核出含む)	5
腹腔鏡によるもの	76
(うち 予防的付属器摘出 [RRSO] )	(1)
(うち LC/LSO + TCRm)	(1)
(うち vNOTES )	(3)

#### 卵巣癌・卵管癌および腹膜癌

TAH+付属器摘出術 (BSO)+骨盤リンパ節廓清術 (PLA)+ 傍大動脈リンパ節廓清術 (PALA)+大網切除術 (OM)	2
(うち 審査腹腔鏡→根治術)	(1)
TAH+BSO+OM	8
BSO	1
播種病変切除	1
PLA+PALA	1
USO+OM	3
診断的腹腔鏡	6
(うち 根治術へ移行)	(1)
(初回減量手術 [PDS] )	(4)
(インターバル腫瘍減量手術 [IDS] )	(7)
(妊孕性温存)	(2)

転移性卵巢腫瘍	
USO+播種切除	1
付属器腫瘍 (境界悪性)	
TAH+BSO+OM	1
BSO/USO+大網切除術	1
子宮頸部異形成, 上皮内癌, LEGH	
円錐切除術	26
TAH	1
RASH	1
子宮頸癌	
広汎子宮全摘出術 (ARH)+PLA	4
TAH+BS	1
円錐切除	2
(うち妊孕性温存)	(1)
子宮体癌/子宮肉腫	
広汎子宮全摘出術+BSO+PLA	1
準広汎子宮全摘出術+BSO+PLA/PALA	2
TAH+BSO+PLA/PALA	4
TAH+BSO	2
TLH+BSO+PLA+PALA (PAN 郭清)	1
TLH+BSO	7
Lap-PALA (PAN 郭清)	1
RASH+BSO+PLA	5
子宮内膜増殖症	
ロボット支援下子宮全摘出術 (RASH)	1
外陰癌	
外陰部分切除術	3
鼠蹊リンパ節摘出術	1
処女膜閉鎖	
処女膜切開術	1
陰唇癒合	
陰唇癒合切開	1

子宮内膜ポリープ	
子宮鏡下内膜ポリープ切除術 (TCR-p)	24
子宮頸管ポリープ	
子宮頸管ポリープ摘出術	1
中隔子宮	
子宮鏡下中隔切除術+腹腔鏡検査	1
帝王切開癒痕症候群	
子宮鏡下癒痕切除術	3
子宮内遺物	
子宮鏡下 IUD 抜去	1
IUD 抜去術	1
骨盤臓器脱	
前後脛壁形成術 (Halban)	1
Le Fort 脛閉鎖術	1
NOTES-Hysterectomy (VANH)+Halban+脛断端吊り上げ(USLS: Shull 法)	4
異所性妊娠	
腹腔鏡によるもの	13
流産手術	
自然流産 (MVA)	26
人工中絶 (MVA)	0
胎盤遺残・RPOC	
用手剥離術	1
D&C	1
バルトリン腺嚢胞	
造袋術	2
尖圭コンジロー	
焼灼・切除術	5

子宮体癌の疑い	
診断的子宮内膜搔爬術	10
TCRp+ 内膜搔爬	4
(うち妊孕性温存)	4

子宮頸管無力症	
シロツカー手術	4

外陰・膣血腫	
分娩後血腫除去	1
外傷性血腫除去	1

胞状奇胎	
D&C	1
2nd D&C	1

IVH ポート	
造設	4
抜去	1

※ 1 例症例の重複あり

総計 425 件	
腹腔鏡手術	167
(うち vNOTES 手術)	(18)
子宮鏡手術	47
ロボット支援下手術	60

## 2. 生殖統計

採卵	101 件
体外受精	42 件
顕微授精	37 件
卵子凍結	2 件
胚移植件数	148 件
新鮮胚移植	1 件
凍結融解胚移植	147 件
臨床妊娠例数	57 例
生産数(+妊娠継続例)	45 例

## 委員会活動

### 1. 産婦人科内カンファレンス

月～金：8:25～8:40（朝礼，夜間勤務報告）  
月：15～17時（病棟症例検討会，総回診）  
木：15～17時（術前症例検討会，抄読会，研究発表）

### 2. 他科との合同カンファレンス

小児科との合同カンファレンス：毎週火曜日 8:15～  
乳腺腫瘍内科との合同カンファレンス：1，3，5週の木曜 15:30～  
病理科との合同カンファレンス：第2水曜日 16:00～  
大腸肛門外科との骨盤外科カンファレンス：第3木曜日 18:00～

## 国際医療協力

### 1. モンゴル国助産師のクレジット研修支援

厚労省事業の「医療技術等国際展開推進事業」モンゴル国助産師のクレジット研修（助産師国家資格更新研修）支援事業を、モンゴル国保健省、モンゴル国助産師会、モンゴル医科大学、日本助産師会、日本助産学会、国立看護大学校と共同で行い、「分娩第1期から2期にかけての胎児のwell-being 確認」について、45分間の講義を動画にて担当した。スライドキャプションは自動音声にし、通訳者の逐次通訳を入れ発表を行った。2024年9月21・22日に首都ウランバートルのモンゴル保健省にて、145名（同国助産師の約15%）が参加してクレジット研修（国の免許更新研修）を行った。胎児心拍モニター（CTG）の判読については皆大変関心が高く、講義は好評であった。

### 2. アジアパシフィック婦人科内視鏡学会（APAGE）

2024年度より富尾は APAGE の YAG executive committee に就任した。アジアオセアニアの婦人科内視鏡手術の導入および普及に協力すべく学会運営に参加し、若手教育 Webinar を主催した。

## 研究

### 1. 厚労省科研費エイズ対策研究事業

定月、中西は平成29年度厚生労働省科学研究費補助金エイズ対策研究事業「HIV感染妊娠に関する全国疫学調査と診療ガイドラインの策定ならびに診療体制の確立」（研究代表者 喜多恒和）の研究協力者として、「HIV感染妊娠に関する臨床情報の集積と解析」についての研究を行い、我が国のHIV母子感染の現状調査を継続した。

### 2. 臨床研究

中西，大石は「ビタミンA関連分子を中心とした日本人妊婦の栄養状態の基礎的研究」の主任研究者，研究協力者として，妊婦の栄養状態と胎児への影響を考える上で基本的な情報を取得するため，

ビタミンAの摂取状況について血清を用いた検討を行い、解析継続中である。

富尾、井上由夏、中西、大石は「早発型妊娠高血圧腎症発症後の経時的な血清バイオマーカーの値に着目した、母児の重症化転帰および分娩時期との関連の検討(前向き観察研究/多機関共同研究)」(研究代表者 東京大学医学部附属病院女性診療科・産科 入山高行)に参画している。

### 3. 臨床試験

富尾はJGOG1082(AFTER)試験「子宮頸癌ⅠB期－ⅡB期根治手術例における術後放射線治療と術後化学療法の第Ⅲ相ランダム比較試験」に参画している。また参画していたJGOG3020試験：ステージング手術が行われた上皮性卵巣癌Ⅰ期における補助化学療法の必要性に関するランダム化第Ⅲ相比較試験の症例登録が2023年10月に終了し、フォローアップ期間となっている。

行っている(いた)研究等があれば記載してください。治験や臨床研究に関することもここに記載してください。